

2025年度 事業計画書

自 2025年4月 1日
至 2026年3月 31日

建築開口部協会は、2020年12月に、カーテンウォール・防火開口部協会と建築改装協会が合併して発足し、本年12月には5年を迎えます。これまで、合併の効果を発揮すべく体制の整備や新たな事業を進めてきたところですが、環境の変化に的確に対応した事業展開が求められています。

国においては、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて様々な施策が展開されており、また建築物・住まいの安全確保も重要な課題となっています。さらに、施工現場における人手不足問題への対応も大きな課題となっています。

こうした動向等を踏まえ、これまでスタートした学校窓点検制度、マンションの窓の断熱改修の普及、改装に係わる地方支部の活性化等の事業をさらに発展させるとともに、排煙窓や墜落防止手すりの安全性の強化等の新たな課題にも取り組み、協会の目的である安全で快適な建築物の整備を通じた社会貢献に努めてまいります。

【基本方針】

1. 防火戸、排煙窓、カーテンウォール及び改装事業に関する技術、品質、規格等に関する調査研究、普及を推進する。
2. カーテンウォール及び改装事業に関する施工の安全確保、人材の育成等を通じ、業界の地位向上、魅力ある職場づくりに貢献する。
3. カーボンニュートラルに向けて、窓の改修にかかる国の補助制度の活用を図りつつ、断熱性能の不十分なものが多いマンションの窓の断熱改修について、研究・普及等の活動を推進する。
4. 学校の窓の点検を行う事業者の育成・登録を行う学校窓点検制度に関し、講習会の実施、制度の普及を推進する。
5. 人命や財産の大きな被害につながる集合住宅の墜落防止手すりの老朽化対策、開口部の飛来物対策を推進する。
6. ホームページ、会報、メールレター等を活用し、会員、開口部関係者や広く一般への情報発信を行う。
7. 協会の財務状況は厳しい状態であり、事業実施に当たっては、必要性や効果の検証、経費削減にお一層配慮して行う。

【主要活動事項】

1. 防火関係事業の推進

- ・ ビル防火戸の通則的認定の運用・管理
- ・ ビル防火戸個別認定品の連結等に関し、施工性に優れた新たな工法の実験・研究と実用化に向けた検討
- ・ 住宅サッシ・防火戸取扱い事業所登録制度の運営実施（定期講習会の実施等）
- ・ 防火戸に関する技術基準等の研究、普及
- ・ 防火認定における評価機関との連絡会議の実施
- ・ 基整促等防火に関する技術情報の収集・周知
- ・ 排煙窓に関する技術基準等の研究、普及

2. カーテンウォール事業の推進

- ・ 金属製カーテンウォール技術基準の策定及び普及
- ・ カーテンウォール技能検定への協力

3. 改装事業の推進

- ・ 「特定住宅部品にかかる優良取替事業」の推進、技術講習会の開催
- ・ 公共需要 (UR 等)、民間需要 (マンション) の掘り起こしのための情報収集、PR 活動
- ・ 各種技術資料等の改訂、普及
- ・ 支部活動の活性化、二種準会員への支援強化（支部勉強会の充実等）、二種準会員の増強

4. マンションの窓の断熱改修の推進

- ・ 昨年度作成した分譲マンション向けリーフレットの補助制度の見直しに伴う改訂及び地域別計算結果の追加
- ・ 賃貸マンション向けリーフレットの作成
- ・ マンションの窓の断熱改修について、ホームページへの掲載等による普及活動の実施
- ・ マンションの窓の断熱改修による省エネ効果等に関する研究

5. 学校の窓の点検の推進

- ・ 昨年度に引き続き、内容を充実しつつ講習会を開催
- ・ 点検管理士登録及び事業者登録を進め、点検実施体制を強化
- ・ 点検実施につなげるため、ホームページを充実させるとともに、文部科学省や教育委員会等の学校施設管理者への制度周知
- ・ 学校の窓の点検に関する研究

6. 開口部等の性能向上に係わる事業の推進

- ・ 集合住宅の墜落防止手すりの点検・改修を進めるための対策の検討、普及
- ・ 改修用手すりあと施工アンカーの技術基準の研究
- ・ 飛来物に対する開口部の安全性向上の研究、普及

7. 広報の充実

- ・ ホームページについて、協会の研究成果や普及ツールなどをわかりやすく掲載するとともに、既存掲載内容の見直しなどを実施
- ・ 昨年度創刊した会報「建開協 VIEW」について、内容を充実しつつ年2回の発行を継続
- ・ 会員向けメールレターについて、国や協会内の情報を広く収集し、適時に情報発信